

II 2018年度活動

1) 研修部教育・指導

(イ) 学 年 暦

2018年度	
4月3日(月)	入所申込受付(本部棟ATM前)
4月20日(金)	※7日を除く
4月11日(水)	入所説明会 18:00～(3号館911)
4月13日(金)	入所説明会 18:00～(3号館911)
4月16日(月)	入所説明会 18:00～(3号館911)
4月18日(水)	入所説明会 18:00～(3号館911)
4月20日(金)	入所説明会 18:00～(3号館911)
4月20日(金)	入所試験(面接) 16:40～(深沢キャンパス)
4月23日(月)	入所説明会 18:00～(3号館911)
4月23日(月)	合格発表
4月24日(火)	入所手続き受付(全学休業日を除く)
5月9日(水)	
5月22日(火)	前期授業開始
5月25日(金)	入所懇親会 18:00～(洋館小ホール)
6月23日(土)	ディベート大会 学生会春合宿
24日(日)	
7月4日(水)	公開講演会(中央講堂)
7月20日(金)	前期授業最終日
9月18日(火)	後期授業開始

11月10日(土)	プレゼンテーション大会 学生会秋合宿
11日(日)	
11月16日(金)	後期授業最終日
12月22日(土)	公開講演会(中央講堂)

(ロ) 研修部指導員

◇桑原聡(くわはら・さとし)〈1957年9月28日生〉

【略歴】

1981(昭和56)年、早稲田大学第一文学部日本史学専修卒業
 ㈱保谷硝子入社

1983(昭和58)年、同社退社

1985(昭和60)年、リオン㈱入社

1987(昭和62)年、同社退社
 産業経済新聞社入社

整理部、新潟支局、文化部、雑誌「正論」編集部

2017(平成29)年、同社定年
 同社嘱託

【共書】

1. スペインと日本
2. バルセロナ散策
3. 南スペイン・アンダルシアの風景
4. スペイン検定
5. 酒とジャズの日々
6. スペイン文化事典

【単書】

1. わが子をひざにパパが読む絵本 50 選
2. わが子と読みたい日本の絵本 50 選
3. 〈ドン・キホーテ〉見参！狂気を失った者たちへ
4. 寛容のすすめ

◇須磨章（すま・あきら）〈昭和 23 年 5 月 24 日生〉

【略歴】

1971（昭和 46）年、慶応義塾大学法学部政治学科卒

生田正輝ゼミ（マスコミュニケーション論）

体育会競走部（関東学生選手権 400m リレー優勝）

NHKに番組ディレクターとして入局

郡山放送局、札幌放送局を経て

報道局、NHKスペシャル番組部などで、一貫して
ドキュメンタリー番組の企画、制作に携わる。

主な担当番組として、

新日本紀行 蔵ずまいの町 一福島県・喜多方市一

NHK特集 単身赴任 一ある商社寮の一週間一

NHK特集 5歳の秋 一母と子の入試最前線一

NHK特集 シリーズ 日本の条件

NHKスペシャル いま地球の子供たちは

NHKスペシャル 世界一愛されたウサギ ～ピーターラビットの田園から～

NHKスペシャル ローラ&ローズ ～“大草原の小さな家”はこうして生まれた～

NHKスペシャル シリーズ “生命・40億年はるかな旅”

NHKスペシャル シリーズ “新・日本人の条件
BSドキュメンタリー ジャーニー オブ ホープ
～死刑囚と被害者遺族の旅～

16時間生テレソン「今日はテレビの誕生日」

シリーズ 世界遺産 100

世界遺産への招待状

特集 検索 de ゴー！とっておき世界遺産

特集 世界遺産 ドリーム対決

特集 二本の木～夫婦がん日記～

現職、成城大学文芸学部非常勤講師。NHK文化センター及び、早稲田大学エクステンションセンターで、「世界遺産講座」講師。日本ペンクラブ会員、ヒトと動物の関係学会会員、喜多方（きたかた）大使

【受賞等】

THE NATIONAL ACADEMY OF TELEVISION ARTS AND SCIENCES（生命・40億年はるかな旅）

中央児童福祉審議会 特別推薦 （世界一愛されたウサギ）

芸術祭テレビドキュメンタリー部門優秀賞（ジャーニー オブ ホープ）

ATPドキュメンタリー部門最優秀賞（二本の木）

その他、ギャラクシー賞、EARTH VISION '96など。

また、英国に功績のあったジャーナリストとしてチャールズ皇太子より“25th Anniversary of Prince Of Wales”の式典に招待される。

成城大学文芸学部の非常勤講師として、平成19年より三期「特殊講座」を委嘱される。

筑波大学情報学群の非常勤講師として、平成24年より「映像表現論」を

委嘱される。

【著書】

近著は「世界遺産 知られざる物語」（角川新書）、「蔵の夢」、「日本一の蔵めぐり」（三五館）、「猫は犬より働いた」（柏書房）など。

その他 共著としての取材記は、NHK出版、角川書店などより多数。

【対論】

「テレビ 50 年の軌跡とこれからの役割」、「犬の心、猫のきもち」（三田評論）

◇向井貴之（むかい・たかゆき）〈昭和 44 年 11 月 16 日生〉

【略歴】

1992（平成 4）年、名古屋大学法学部卒業

朝日新聞社入社

松山支局（記者）

1994（平成 6）年、福島支局（記者）

1995（平成 7）年、つくば支局（記者）

1997（平成 9）年、北海道報道部（記者）

1999（平成 11）年、社会部（記者）

2002（平成 14）年、青森支局（記者）

2004（平成 16）年、社会部（記者）

2005（平成 17）年、政治部（記者）

2007（平成 19）年、社会部（記者）

2009（平成 21）年、さいたま総局（次長）

2012（平成 24）年、スポーツ部（次長）

2014（平成 26）年、ジャーナリスト学校（記者教育担当部長）

2017（平成 29）年、広報部（主査）

2018（平成 30）年、人事部（主査）

◇下平尾直（しもひらお・なおし）（1968 年 1 月 1 日生）

【略歴】

京都大学大学院人間・環境学研究科博士後期課程（中途退学）、日本学術振興会特別研究員（DC2）。コピーライターなどを経て、2007 年に（株）水声社に入社。人文書・文学書を中心に、在籍 7 年で 80 数点を刊行する。企画した書籍が、河合隼雄学芸賞、日本翻訳出版文化賞、表象文化論学会奨励賞などを受賞。

2014 年 4 月、いわゆる「独り出版社」として独立し、(株)共和国を創業する。2019 年 3 月現在、40 点を刊行。

【編著】

清田政信『渚に立つ——沖縄・私領域からの衝迫』（共和国、2018）、『燃えるキリン 黒田喜夫詩文撰』（共和国、2016）、『俗臭——織田作之助〔初出〕作品集』（インパクト出版会、2011）など。

【共著】

『表現と教養——スキル重視ではない諸年次教育の探究』（ナカニシヤ出版、2019）、『メディアの本分』（増田幸弘編、彩流社、2017）、『既存概念をぶち壊せ！』（杉村昌昭編、晃洋書房、2016）など多数。

◇坂本律行（さかもと・のぶゆき）（昭和 31 年 1 月 23 日生）

【略歴】

1979（昭和 54）年、早稲田大学教育学部卒業

1982（昭和 57）年、成城大学大学院文学研究科コミュニケーション学専

攻修士課程修了

株式会社日本マーケティングシステムズ入社(研究員)

1988(昭和63)年、株式会社日本マーケティングシステムズ退社(研究員)

1991(平成3)年、三菱電機オスラム株式会社商品企画課入社(課長代理)

2000(平成12)年、三菱電機オスラム株式会社退社

株式会社ビー・エム・エフティ入社(リサーチディレクター)

2003(平成15)年、日本工学院八王子専門学校マルチメディア科入職(非常勤講師)

2005(平成17)年、株式会社ビー・エム・エフティ退社

2006(平成18)年、日本工学院八王子専門学校マルチメディア科退職(非常勤講師)

株式会社坂本総合研究所設立(代表取締役)

2014(平成26)年、ブルームーンパートナーズ株式会社設立(業務執行役員)

2018(平成30)年、ブルームーンパートナーズ株式会社退社

【共著】

1. 「座・こみゆにけーしょん」
2. 「実践マーケティング講座」

【単著】

1. 「花のマーケット～首都圏で売れている花の現在と今後」
2. 「食べるヘルシー」
3. 「雑誌広告取引EDIについて聞いた」
4. 「雑誌の特殊広告は第2ステージへ」
5. 「新消費時代のブランド選好」

【学会発表等】

1. 「ブランド・コミットメントの測定に関する課題」
2. 社会調査のための自由回答処理方法の共同研究

◇山田克（やまだ・まさる）〈昭和31年3月27日生〉

【略歴】

- 1980（昭和55）年、東北大学文学部卒業
共同通信社入社
秋田支局
- 1984（昭和59）年、仙台支社編集部
- 1988（昭和63）年、本社社会部（警視庁方面担当、司法記者クラブ、遊軍、厚生省担当、司法記者クラブサブキャップ）
- 1996（平成8）年、札幌支社編集部デスク
- 1998（平成10）年、本社社会部デスク
- 2005（平成17）年、大阪社会部副部長
- 2006（平成18）年、大阪社会部部长
- 2008（平成20）年、ビジュアル報道センター映像音声部長・局次長職
- 2010（平成22）年、編集局ニュースセンター副センター長
- 2012（平成24）年、仙台支社長（東北6県管轄）
- 2015（平成27）年、東京支社長（関東甲信越管轄）
- 2017（平成29）年、放送報道局委員

【著書】

- 「知られざる報告」（秋田書房、共著）、「ルポ高校中退」（秋田書房、共著）、
「東京地検特捜部」（講談社α文庫、共著、『談合の病理』改題）

◇玉手義朗（たまた・よしろう）〈昭和33年7月7日生〉

【略歴】

1981（昭和56）年、筑波大学社会工学類社会経済計画専攻卒業

1992（平成4）年、TBSテレビ入社

2018（平成30）年、TBSテレビ退社

現在はフリーランスとして活動中

【共書】

1. 経済入門

【単書】

1. 円相場の内幕
2. 近代建築 歴史さんぽ
3. あの天才がなぜ転落～伝説の12人に学ぶ失敗の本質

(ハ) 講義・演習内容概略

科 目	
時事コラムの楽しみ方	桑原 聡
ドキュメンタリーはこうして生まれる	須磨 章
デジタル時代の新聞ジャーナリズム	向井 貴之
出版社の現場から一本づくりの舞台裏	下平尾 直
商品とマーケティングーヒット商品が生まれたわけー	坂本 律行
体験的ジャーナリズム論	山田 克
メディアリテラシー向上講座 ～事例で探るメディアのウソとホント	玉手 義朗

時事コラムの楽しみ方（火曜日・5 時限講義）

桑原 聡

本講座では、講師が産経新聞オピニオン面に連載している時事コラム「モンテニューとの対話」を素材に、時事コラムの筆法と読み方を考えてみます。同時に、受講者には講師が提示するテーマで、次週までに時事コラムを書いてもらい、これを出席者ひとりひとりに批評してもらいます。

勘違いしないでいただきたいのは、本講座の狙いは、コラムニストを養成することではなく、受講者のメディアリテラシーを向上させることにあります。自分で書き、それを批評されることによってこそ、読み方が豊かになると考えるからです。そうして読み方が豊かになれば、新聞1面のコラムの善し悪しが、さらには自分が商品としてのコラムを書ける器なのかどうかも分かってくるはずです。

よって本講座はゼミ形式となり、次週の月曜日までに800字のコラムを書き、講師にメールで送ることを、毎週3人に義務づけます。それは火曜日に受講者全員の批評にさらされます。このやり方に堪えられる方、ぜひ受講してください。お待ちしております。

ドキュメンタリーはこうして生まれる（水曜日・4 時限講義）

須磨 章

TVドキュメンタリーは、どのようにして企画され、どのようなプロセスを経て制作、放送されていくのか、NHKにおける45年間の番組制作の体験をフルに生かし、具体的に語っていく。企画、交渉段階での資料や、

実際に放送した映像の一部など、オープンにできるものはお見せすることもある。

映像メディアとしてダイレクトに表現できるメリットとともにプライバシーの問題など、取材対象の人々との接し方や、放送後の世間のリアクションに対するフォローなど、放送にはでない裏話もある。

デジタル時代の新聞ジャーナリズム（水曜日・5時限講義）

向井貴之

「紙（紙面）」から「デジタル（画面）」へ。記事の読まれ方も、伝え方も、変わってきています。

インターネットやSNSの普及で、誰もが発信者になれる時代。多様な情報を入手しやすくなった一方で、虚実入り乱れた情報が、ますます飛び交うようになりました。いったい、何を信じれば良いのか。情報の受け手によるメディアの選別も、厳しくなっています。

その中で、報道機関やプロの記者に求められる役割・力量とは、何か。時代に合わせて、変えていかなければならないものと、簡単に変えてはならないものがあります。

私は、約20年にわたって報道現場に身を置いた後、昨春まで記者教育の責任者として、若手の育成や学生インターンシップの運営に携わってきました。そんな経験をもとに、新聞社の課題・挑戦・戦略をご紹介します。デジタル時代のジャーナリズムを考える場にできればと思います。

様々な分野の報道に携わってきたので、社会・政治・スポーツなど、なるべく幅広いジャンルを扱う予定です。「事件報道」「調査報道」「課題解決模索型報道（ソリューション・ジャーナリズム）」などの報道スタイルや、

「デジタル発信」などの新しいツール、舞台裏もご紹介します。ニュースの読み方（読み比べ方）を学んで頂くだけではなく、「わかりやすい文章」のコツなど、少しでも「お役立ち」になるような回を設けたいと思います。

出版社の現場から一本づくりの舞台裏（木曜日・6時限講義）

下平尾直

読書や本が好きなお方にはおすすめの講座です。

みなさんは「出版」や「編集」という言葉から、何を連想するでしょうか。ドラマ化されるような華やかなギョーカイ？ それとも「出版不況」と呼ばれるような暗くて地道で大変な仕事？ この講座では、本をつくって読者の手元に届くまでの基礎的な知識はもちろん、各界で活躍中のゲストにお招きしたり、本の帯や出版広告を作成したりしながら、具体的で実践的な本づくり＝編集のあれこれを身につけていきます。

01. 「編集」という仕事
02. 出版社とはどんな仕事をするところか
03. 映画で観る出版社の仕事
04. 奥付を「読む」：本に関する歴史と基礎知識
05. 書物の「解体」学：本はこうやってできている
06. 「わたしの1冊」をプレゼンしよう
07. パクリはなぜダメなのか？：著作権を考える
08. どんな本を世に出せばいいのか？：企画書を書く
09. 校正とはなにか？：考え方と実践
10. 装幀とはなにか？：本というブツの愉しみ

11. タイトルと帯文：キャッチコピーの考え方
12. 印刷と製本：まさに「本」の歴史と文化の担い手
13. 本と読者を架橋する：広告／書評の役割と重要性
14. 本はどこで買えばいいのか：町の本屋さんと「アマゾン文化」
15. 本は買わなくていいのか：町の本屋さんと「図書館生活」
16. まとめ

商品とマーケティング—ヒット商品が生まれたわけ—

(金曜日・3時限講義)

坂本律行

企業は調査を行って、自らの商品やサービスに対する意思決定をしています。新製品のアイデアを洗い出し、ふるいにかけて絞り込む、コンセプトをまとめ、調査を行い、分析する。消費者の手元に商品を届ける。多くの消費者の購入へ至るまでのあらゆるステップがマーケティングです。どんな商品であれこれらのステップを経て市場化されています。

また、マーケティングは競争ですので、「勝つ」ための一般理論は成立しません。全てに新たな「発想」が求められます。状況に応じて行うべき基本的な考え方があります。具体的事例をあげながらマーケティングの役割や機能についてお話ししていきます。

1. コンセプトとターゲット
2. シーン
3. ベネフィット
4. マーケティング戦略

5. 市場の考え方、既存の市場と新しい市場、競争的市場
6. 競合との関係（商品のポジショニング）
7. 競合との関係（企業イメージとブランドイメージ）
8. マーケティング・リサーチ
9. 目的と調査手法

分析の方法、分析結果の見方

体験的ジャーナリズム論（金曜日・4 時限講義）

山田 克

かつて共同通信社社会部で優れたルポルタージュを書き続けた斎藤茂男という記者がいました。冤罪事件、政界や企業・労働現場の深層、学校・教育問題などをテーマに、現場にこだわって事実を追い求めたことで知られています。斎藤にあこがれて共同通信社に入り、38年にわたって社会部を中心に事件・事故、災害や社会問題の取材・報道に取り組んできました。担当した分野は検察・裁判、医療、食の安心・安全、巨大災害、原発問題など多方面にわたり、バブル人脈、ゼネコン談合、日韓裏面史、死刑問題などの長期連載も手がけてきました。

私の講義は、自分の記者体験に基づくジャーナリズム雑記のような話です。初めて講義を担当した一昨年は事件・事故報道の課題や問題点、昨年は調査報道の取り組み、通信社という「メディア業界の黒衣」の歴史を中心に取り上げ、その時々ニュースに関する話題もお話ししました。今年はこのテーマに加え、「記事のあり方」も取り上げます。ニュースを伝える文章と用字・用語という新しいテーマです。誰もが情報の発信者になることができる時代に、報道機関で働く人間が何を考え、何に悩み、どうし

ようとしているのかを率直にお話ししたいと考えています。「現代史の講義のようだった」という指摘を受けましたが、ジャーナリズムとは「現代」をリアルタイムで記録、分析、論評し、時にはさかのぼって歴史の事象を検証していく作業だと考えています。できるだけ「現代」とそれを生んだ「歴史」にこだわって、昨年話しきれなかったテーマも取り上げたいと考えています。

メディアに何が起きているのか。報道機関は時代の記録者の役割を果たせるのか。今年も日本のジャーナリズムの現状と問題点を考え、メディアのあり方を探りたいと思います。

メディアリテラシー向上講座～事例で探るメディアのウソとホント～
(金曜日・5時限講義)

玉手義朗

「殺人事件の容疑者として25歳の男が逮捕されました。」
テレビからこんなニュースが流れてきました。この男は本当に犯人なのでしょうか？

「私はこの方法で10キロのダイエットに成功しました！」
バラエティ番組で、お笑い芸人が体重計の上でガッツポーズをしています。この方法を使えば、あなたも痩せることができるのでしょうか？

私たちはテレビや新聞、インターネットなど様々なメディアから発信される情報に囲まれています。しかし、その中には誤った情報も多く、「やらせ」や「ねつ造」も頻発、安易に信じると、とんでもないことになりかねません。

情報を鵜呑みにするのではなく、自らの力で真偽を判断することが「メ

ディアリテラシー」です。講座ではメディアの裏側を探りながら、メディアリテラシーを高め、正しい情報の活用方法を身につけていきます。

予定しているテーマは以下のとおりです。

- ① 報道・情報番組の裏側大公開
 - ・メイキングビデオで見る報道・情報番組の作られ方
- ② ねつ造・やらせ・誤報の実態
 - ・世紀のスcoop写真「崩れ落ちる兵士」の真実
- ③ バラエティ番組の裏側
 - ・熱湯は本当に熱いのか？ ナイナイ岡村の挑戦状
- ④ メディアと政治
 - ・あなたはどちらに投票しますか？
 - ケネディVSニクソンテレビ討論会を見てみよう
- ⑤ メディアと災害報道
 - ・大地震発生！ その時メディアは？
 - ・ハリウッドの名優ジョン・ウェインを死に追いやった放射線被害
- ⑥ メディアと人権、プライバシー問題を考える
 - ・容疑者の手錠にモザイクがかかるワケ
- ⑦ メディアとお金の密接な関係
 - ・視聴率とお金の関係
- ⑧ 最新のメディア動向